

第1080回教育委員会会議録

- 1 日 時 平成30年5月8日(火) 午後3時00分～午後5時05分
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席者 東村教育長 吉井委員 西野委員 八田委員 南部委員 原委員
松田教育振興監 佐々木学校教育幹 吉野企画幹(競技力向上)
片柳教育政策課長 巣守学校振興課長 清川高校教育課長
中森課長(高校学力向上) 浦井義務教育課長 山本課長(小中学力向上)
清水生涯学習・文化財課長 坂本スポーツ保健課長

4 議 題

- 日程第1 第4号議案 平成31年度福井県公立学校教員採用選考試験について
- 日程第2 第5号議案 福井県社会教育委員の委嘱について
- 日程第3 第6号議案 福井県心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について
- 日程第4 第7号議案 福井県スポーツ推進審議会委員の任命について

5 審議事項

- (1) 開会宣告 午後3時00分
- (2) 会議録署名人の指名 西野委員 南部委員
- (3) 議事要録

教育長 本日の日程第2 第5号議案から日程第4 第7号議案、協議報告事項の3から6については、事務執行上、公開が適当でないことから、非公開とする旨発議

—————当該議案を非公開と決する—————

教育長 日程第1、第4号議案を議題

学校振興課長 資料に基づき説明

教育長 平成30年度の採用は何人だったのか。

学校振興課長 30年度は、教諭が240名、養護教諭が17名、栄養教諭が7名であつ

た。今年度は、昨年より教諭で40名減、養護教諭で2名増、栄養教諭で6名減となっている。

教育長 平成29年度の採用は何人だったのか。

学校振興課長 29年度は、教諭で235名を採用している。28年度が219名、27年度が197名であったので、4年ぶりに200名の採用になっている。

教育長 200名の採用というのは、過去と比較して多い方なのか。

学校振興課長 26年度以前は100名の水準だったので、200名を超えての採用は今年度で4年連続になる。これまでと比較しても多い数字である。

西野委員 教育エキスパート特別選考は、現在で何人ぐらい採用しているのか。

学校振興課長 一昨年1名、昨年度1名で、これまでに2名を採用している。昨年は中高一貫の英語、一昨年度も英語での採用である。

南部委員 現職の英語の先生とエキスパートの英語の先生との違いは何か。

学校振興課長 エキスパートの英語教育分野では、英語を母国語とする外国籍の者、5年以上の英語圏在住経験もしくは3年以上の英語を用いた民間企業等での実務経験を有する者を対象としている。また、エキスパート特別選考では、教員免許を持っていない場合、特別免許を発行して対応している。

教育長 福井県で採用した2名のエキスパートは、どのような経歴なのか。

学校振興課長 1名は他県の中高一貫校で英語指導の経験があり、もう1名は民間企業や海外で英語を使った業務を行っていた経験がある。2名とも日本人である。

教育長 英語指導の経験がある人は教員免許を持っていたのか。

学校振興課長 そうである。もう一人は教員免許を持っていないので、特別免許を発行して採用した。現在は、2名とも高校に勤務している。

西野委員 民間企業での経験がある先生は、高校に勤務しているのか。

学校振興課長 そうである。

原委員 エキスパートの受験者数は、毎年どれぐらいいるのか。

学校振興課長 昨年は5名、一昨年は6名が出願している。工業や芸術の分野での志望者もいた。

教育長 教諭の採用が40名減った理由は何か。

学校振興課長 年々児童生徒数が減っていること、来年度に小浜市の4つの小学校が統合するなど、教員の必要数の減少が理由としてあげられる。また、再任用者数が年々増加しており、今後も増えていくことが予想されることなども理由としてあげられる。

教育長 第4号議案について、原案に対する有無を確認

———原案どおり可決———

◎協議・報告事項

(1) ふくいの教育振興推進会議の設置について

教育長 5月15日の第1回目の会議では何をするのか。

教育政策課長 現行計画の進捗状況の報告と現在の取り組みの説明を行う。

吉井委員 2回目も5月中に実施するのか。

教育政策課長 5月31日で調整を行っており、午後1時からの開催予定である

八田委員 教育委員の立場はオブザーバー的なもので良いのか。

教育政策課長 正式な委員ではないので、オブザーバー的な位置づけであるが、発言はいただきたい。

西野委員 前回の「ふくいの教育力向上会議」と同じようなものになるのか。

教育政策課長 前回と同じような役割である。メンバーについては違う方もいるが、東京大学の秋田先生など引き続き入ってもらっている方もいる。スカイプも活用しながら出席できるようにしていく。

(2) 平成30年度福井県高等学校入学者選抜学力検査の結果について

教育長 選択問題のA問題とB問題について、今回の分析をもとに31年度入試ではA・Bをそれぞれ選択する学校に変更は出てくるのか。

高校教育課長 普通科でA問題を選択した学校は足羽高校だけであったが、各学校の成績状況を見ていくとB問題よりA問題の方がふさわしい学校もあった。足羽高校以外の普通科でもA問題を選択する学校は出てくるものと考えている。

教育長 10分の1以下の抽出調査でも、全体平均との違いが1点以内であった。今回の抽出結果で入試全体の傾向を見ることができたと判断して良いのか。

高校教育課長 抽出の人数が400名以上と多くなっているのに、全体の4000名での結果とよく似たものになった。全体の傾向は、この抽出調査の結果で見ることができたと考えている。

吉井委員 この検査結果の概要を各中学校に送って、各教科で授業や指導について考える会議や研修会を開いているのか。

高校教育課長 入試問題が発表された時に、各中学校で問題の分析が行われている。さらに、今回の資料を送ることで、授業や生徒への指導に活用して欲しい。

義務教育課長 中教研の各教科部会でも入試問題に対する議論は行われている。入試後の生徒の反応や聞き取りも参考にして分析を行い、結果を県にも報告している。

西野委員 入試問題を見ると、数学や理科でも言葉の説明など基本的に国語力が求められる問題が多いことが分かる。これまでは、国語が得意な生徒は文系教科が得意で、理数が得意な生徒は理系教科が得意であるということが一般的であったが、現在でもこのような傾向に変わりはないのか。

高校教育課長 今は文系・理系を問わず、高校でも問題を読む力をつけて自分の考えを表現することが求められている。新しい大学入試では、問題だけでなく面接や小論文でも、そのような力が求められる傾向が強くなっていくと思われる。

高校では、数学や理科でもグループで意見を述べ合う授業を行っている。自分で問題を読み解き、表現力できるよう各学校に指導を行っていきたい。

八田委員 生徒たちは、今後の指導のポイントに出ている「くらげチャート」や「ステップチャート」といった思考ツールを知っているのか。

高校教育課長 思考ツールを使ったことがある学級や学校の生徒は知っている。また、指導のポイントを読む教師は、生徒たちの思考力・発想力を広げるツールや手段として知っていると思われる。

原委員 昨年度の課題であった内容について、今年度はどうなっているのか。

高校教育課長 昨年度の課題も読み取って表現することであったが、その点については、今年も引き続き課題となっている。

教育長 全国学力・学習状況調査や高校入試を分析して、SASAを作成するのか。

佐々木教育幹 そうである。これらの問題は一体化しているものである。

八田委員 他県の入試問題の検討や分析は行っているのか。

高校教育課長 問題の研究や他県と似た問題にならないように、他県の入試問題の分析を行っている。問作者は、昨年問題や過去の全国の入試問題についても分析をして、入試問題を作成している。

教育長 日程第 2、第 5 号議案を議題

生涯学習・文化財課長 資料に基づき説明

教育長 第 5 号議案について、原案に対する有無を確認

—————原案どおり可決—————

教育長 日程第 3、第 6 号議案を議題

高校教育課長 資料に基づき説明

教育長 第 6 号議案について、原案に対する有無を確認

—————原案どおり可決—————

教育長 日程第 4、第 7 号議案を議題

スポーツ保健課長 資料に基づき説明

教育長 第 7 号議案について、原案に対する有無を確認

—————原案どおり可決—————

◎協議・報告事項

(3) 平成 30 年度教育委員会関係表彰について
(優良 P T A 表彰)

(4) 文部科学大臣表彰の推薦について
(優良 P T A 文部科学大臣表彰)

(5) 全国学力・学習状況調査の分析速報について

(6) 高校 1 年生のための大学進学セミナーについて

教育長 本日の会議の終了を宣言

6 閉会宣言 午後 5 時 0 5 分